

創 立 昭和 32 年 4 月 19 日  
 会 長 菅 生 康 清  
 会長エレクト 高 橋 靖  
 副 会 長 長 谷 川 博 章  
 幹 事 下 辻 眞 人  
 広報会報記録 中 野 利 昭



2018-19 年度 地区スローガン  
**ロータリーを学び、実践し、発信しよう； Enjoy Rotary**

事務局（例会場） 例会日  
 檀原市久米町 652-2 毎週金曜日  
 DAIWA ROYAL HOTEL THE KASHIHARA 4F 12 時 30 分～13 時 30 分  
 TEL/0744-28-2801（直通）  
 FAX/0744-28-2802  
 E-mail/kro@jeans.ocn.ne.jp Vol. 62 No. 43 (2018-19)  
 TEL/0744-28-6636（ホテル） 2019（令和元）年 6 月 7 日発行

**6月は、「ロータリー親睦活動月間」(Rotary Fellowships Month)です。**

**第 3026 回例会報告書**

2019（令和元）年 5 月 31 日

司会 副 SAA・辻田真海会員  
 R.song 我ら日本のロータリアン  
 ソング・リーダー 吉川弘晃会員  
 ピアノ奏者 廣畑弥生さん  
 美女と野獣、いつも何度でも

**会 長 挨 拶**

○皆様こんにちは。月末の例会に多数ご出席頂き、感謝申し上げます。

先週は職業奉仕委員会担当の移動例会で、宇陀川浄化センターに行かせて頂いた。尾田職業奉仕委員長には大変お世話になり、なかなか見られない施設を見学し、その後はやまとまほろば RC メンバーの「一語一笑」というお店で昼食をとった。楽しい移動例会となり、感謝申し上げます。

○今日はこの後、関西国際空港へ行き、ハンブルグ世界大会へ向かう。この年になると海外旅行へ行くのはなかなか緊張するもので、旅程もなかなか厳しいものになっている。5 時に関西国際空港を出発し、香港へ行き、香港で 4 時間待ち、アムステルダムへ行き、またアムステルダムで 6 時間待ち、そこからやっとハンブルグに入る。関西国際空港に着いてから 24 時間以上かかってドイツに向かう。現地にいるのはだいたい 3 日間で、帰りもまた同じぐらい手間をかけて帰ってくる。次回の例会では世界大会の報告ができると思うので、是非楽しみにして頂きたい。



**出席報告**

正会員 46 名  
 (5/31) 出席者 31 名 出席率 79.50%  
 (5/17 補正) " 33 名 " 80.50%

**ニコニコ箱**

- ◎今日からハンブルグ世界大会へ行って参ります。  
 ……………菅生康清会員
- ◎ニコニコに協力します。……………中井康允会員
- ◎チョットうれしいことがあったので。  
 ……………永田晶三会員
- ◎本日よりハンブルグ国際大会へ 7 名で行って参ります。  
 ……………平田博也会員
- ◎誕生日お祝い  
 野阪 洋会員 (6/24)
- ◎結婚記念日お祝い  
 中野利昭会員 (5/5)



## 「飛鳥学院の沿革と 社会的養護の変遷」

祖父（河村善次郎）は昭和46年に自費出版した「あすかへの道」という自叙伝の中で、昭和44年8月、今からちょうど50年前に自身の戦争体験をこの橿原ロータリークラブにおいて報告したと記しています。私は、昨年4月に入会を認めて頂いて今日が初めての卓話となります。半世紀を経て祖父と同じようにこの場に立っていることに何か因縁めいたものを感じ、緊張しておりますが大変光栄に思っています。



社会福祉法人飛鳥学院は、河村善次郎が昭和20年8月に竹筏で日本海を12日間漂流し、まさに九死に一生を得た体験から青少年の育成を決意し、昭和20年10月、数名の戦災孤児を保護したことから出発しました。現在の主な事業は、児童養護施設（含む一時保護所）、保育所、学童保育所、児童家庭支援センター、児童発達支援事業所で、約1500名の子ども達に関わっています。

昭和38年に老人福祉法が施行されるなど、高度成長期以降の日本の福祉は老人福祉にシフトしてきておりますが、児童福祉法は老人福祉法に遡ること15年前の昭和23年に施行されました。戦後に12万人居たと謂われる「戦災孤児」のみならず、戦後復興のためには全ての子ども達の未来を保証することが必要だと、敗戦後間もない昭和23年に児童福祉法を制定し、また民間においても数多くの児童養護施設が、実業家や宗教家によって大変な苦勞と努力を伴いながら設立されました。私は当時の凄惨な戦争や貧困は想像するしかできませんが、先人たちの勇気と覚悟には尊敬の念を禁じえません。

子どもの問題は、その後の高度成長期やバブルの崩壊等の社会の変化に伴い、非行、不登校、いじめ、虐待（身体的、心理的、ネグレクト、性的）、少子化、ひきこもりと変化し、現代においてもある意味深刻さを増して続いています。

現代日本は物質的には戦後と比べ物にならないほど豊かになりました。しかし物質的に豊かであるが故に、徐々に「生きる力」（自立する力）を失っているように

感じます。「物質的な豊かさ」＝「幸せ」ではないことは、精神疾患を有する患者数が激増している状況（平成11年204万人→平成26年392万人）からも明らかになりつつあります。

団塊の世代（昭和22年から24年）に平均260万人以上生まれた子どもが、平成30年度は約1/3の94万人にまで減少し、更に減少傾向に歯止めがかからない状況になっていますが、将来の日本を作り、支えるのは、いつの時代も子ども達であることに変わりはありません。祖父や父の意思を引き継ぎ、変えてはならないものと、社会の動向に応じて変わらなければならないものを見極める力を身につけ、児童福祉に覚悟を持って関わっていかねばならないと、今回の卓話を機に改めて思いました。

### 【例会ご案内】

6月14日（金）《第2例会》  
軽音部演奏  
担当：プログラム委員会

6月21日（金）《第3例会》  
フォーラム（総括）

6月28日（金）《第4例会》  
夜間例会  
会長・幹事退任挨拶

7月4日（木）《第1例会》  
ガバナー公式訪問  
（あすかRC・やまとまほろばRC合同）  
ホスト：あすかRC

7月12日（金）《第2例会》  
会長・幹事就任挨拶

### 【同好会】

書道同好会

6月21日（金）  
午後2時～ 於：4階 楓の間

### 【RAC 例会】

〔橿原オークホテルにて、午後8時～9時15分〕

6月22日（土）《第2例会》  
「最終卒業例会」  
10:30 登録開始、11:00 開会、14:00 閉会  
於：橿原オークホテル

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。

